

会 議 録 要 約

会議の名称	令和５年度第１回八尾市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
開催日時	令和５年８月７日（月） 午後２時００分～午後４時００分
案件	議事 ・ 令和４年度八尾市高齢者実態調査及び要介護認定者等実態調査の報告について ・ 第９期八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について

八尾市高齢者実態調査及び要介護認定者等実態調査報告書について	
委員	新型コロナウイルスの影響で社会参加が減少している。実態調査にコロナの影響についての質問があればよかったと思います。
事務局	実態調査の質問で外出を控えている理由として、約７割の人が新型コロナウイルスの感染防止と回答しています。この回答者について他の質問とのクロス集計分析を検討します。
委員	コロナ過で社会参加や外出をする際に、周りの視線が気になり、外出を控えることがあると思います。周りの人が心に余裕を持って、周りを気遣うことが大切と感じました。
委員	実態調査を実施した時点と今とは状況は変わっていると思います。コロナ過での調査結果を計画に反映することは難しいと思います。外出したいと思っている人もたくさんいると思いますが、外出すれば感染のリスクもあるため声を掛けるのが難しく慎重にならざるを得ない。気持ちの温度差を調整するのが難しい。
会長	人への思いやり、感染リスクを考慮しながらの環境づくりをこれからの地域づくりに活かしていければよいと思います。
委員	認知機能の低下については、今回の調査だけで判断するのは難しい。質問の精査が必要。
委員	低栄養についても、もう少し客観的なデータが必要。
委員	介護人材の確保について、職員が休める体制をつくるのは難しい。市・行政の援助が必要。
事務局	介護離職を減らすことや人材の確保については、課題と認識しています。事業所等の意見を聞かせていただき対策を検討していきたい。
会長	調査結果では、高齢者あんしんセンターの認知度は下がっています。委員の皆様はどのように感じていますか。
委員	一概には言えませんが、介護者の家族からは、高齢者あんしんセンターの話はあまり聞かない。ケアマネとの相談の話を聞くが、いろいろなケアマネがいるので、相談する人と通じあえばよいと思います。
委員	高齢者に地域の高齢あんしんセンターに相談にのってもらってはどうかと紹介したところ、いい形で応援してもらっていると連絡があった。

第9期八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（骨子案）について

会長	地域活動への意欲が低下している。介護予防に関しては個人で趣味やスポーツをしている人もいる。行政へ何をしてもらえればよいのか。どう動いたら良いのかが分からない人も多い。
委員	地域の高齢者の見守り、一人暮らしの高齢者の訪問をしています。高齢者家族は見落とすことがある。ご近所の人が様子を見て知らせてくれることや、地域の行事などで声を掛けることが大事。
会長	8050問題のこともあり、どういう人にアプローチをするのかは課題。
委員	高齢クラブは16,000人いた会員が、現在は6,000人を切っている。イベントに多くの人に参加してもらいたい。イベントに参加し、友達が増え、楽しんでいただきたい。
会長	様々なイベントを通じて繋がっていく。社会資源の一つとして今後も続けていただきたい。
副会長	社会参加が低下していることについては、周知をどうしていくかの工夫が必要。
委員	昨年、ボランティア団体を対象としたフレイル予防教室を実施しましたが、好評で直ぐに定員が埋まりました。参加者の中には家から出たのが何年ぶりかの人もいました。高齢者の声を聴く、傾聴のボランティアも実施してします。高齢者はさみしいので家に行けば喜ばれます。認知症高齢者の50～60代の子どもの中には、親を施設に預けっぱなしの人がいるが、子どもに認知症について理解してほしい。高齢者は家で暮らしたいと思っている。高齢者もボランティアをして外出してもらいたい。
委員	地域での行事は、コロナ過ではほとんど中止になった。行政や社会福祉協議会との連携が非常に重要。計画では中学校区ごとの圏域での分析を実施しているが、小学校区での分析データがあれば身近な課題が見えてくると思う。